

P	D	C	A
<p>・がん相談支援センターの周知の促進。 対象者別の周知方法を検討。</p>	<p>・外来看護師、通院治療センター看護師に対し、がん相談支援センターの役割を案内。</p>	<p>・看護師からの紹介件数が増加。職種別、部署別の周知活動により、相談件数の増加。</p>	<p>・当院主催のイベント(君津圏域広域リハ事業)にて、がん相談支援センターのブースを設け、市民への周知活動を行う。</p>
<p>1.地域医療支援病院の承認要件である紹介・逆紹介率を今後も維持。 2.例年同様、地域緩和ケア連携会議等の施設間連携の充実を目的とした会合等を開催。 3.施設訪問を多く実施し、近隣施設から当院に対するニーズ(特にがんに係るBCP等)を把握。</p>	<p>1.承認要件を満たす紹介・逆紹介率は維持できている。 2.8月に地域緩和ケア連携会議を実施。 3.今年度11月末時点で他施設と30件程度対面にて交流。</p>	<p>1.紹介・逆紹介率については問題ない。 2.地域緩和ケア連携会議では、近隣医療機関の多職種の職員が参加し、各々の役割を確認できた。 3.施設訪問の際は、日頃の連携強化や不具合等を協議したが、がんに係るBCPについては深く触れられなかった。</p>	<p>がんに係るBCPについて、他施設と積極的に協議するようにする。</p>
<p>1.院内外の看護師を対象としたELNEC-Jの開催。 2.緩和ケアリンクナース会と連携し、緩和ケア研修を開催。 3.院内ラダーレベル I での緩和ケア研修の開催。</p>	<p>1.ELNEC-J開催→院内外へ開催を周知。 2.リンクナース会の中でミニレクチャーを毎月開催。緩和ケア研修は2回開催。 3.実施。</p>	<p>1.7月に開催し、25名参加(うち院外から9名参加) 2.緩和ケア研修は2回開催し74名参加。 3.ラダーレベル I では、看取りの看護、臨死期のケア、入院時スクリーニングについての研修を開催。アンケート結果では、7割以上がよく理解できたとの回答だった。</p>	<p>継続する。</p>
<p>・医師会・歯科医師会・薬剤師会を通じた地域への研修会周知。 ・院内医師へ研修会案内を個人ポスティング、上司からの声かけ依頼。 ・研修会案内文(チラシ)の掲示。</p>	<p>・PEACEは11/23実施予定、ELNEC-Jは7/8-9で実施。 ・がんフォーラムを6/26に開催。また、同フォーラムを11/29と年明けに1回開催。</p>	<p>・ELNEC-Jは5名が院外から参加。 ・6/26のフォーラムにおいても、前回同様地域からの聴講があった。</p>	<p>次年度も圏域内の状況を見ながら継続する。</p>